

令和元年度第1回美しい宮崎づくり推進有識者会議 議事要旨

1 日時

令和元年7月5日（金）午前10時～正午

2 場所

県庁附属棟2階201号室

3 出席委員（12名）

議長 関西 剛康、委員 鶴田 安彦、委員 田代 景三
委員 宮野原 佳、委員 海老原 邦子、委員 谷越 衣久子
委員 永井 佐代子、委員 日高 茂信、委員 福永 栄子
委員 中島 雅隆、委員 寺原 誠一（代理：竹田主査、吉行主任技師）
委員 根岸 裕孝（欠席）、委員 古原 正人（欠席）

4 議事等

【議事】

○美しい宮崎づくり推進計画フォローアップについて

○広域的景観の保全及び創出に関する方針（景域マスタープラン）について

【その他】

（1）連絡事項

5 委員からの主な意見等

【議事】

○美しい宮崎づくり推進計画フォローアップについて

【事務局】

美しい宮崎づくり推進計画に基づく施策の平成30年度の取組及び評価・検証内容を説明。

【委員】

- ・一生懸命取り組んでいる印象。人づくりが大切、併せて団体との連携が重要。
- ・針広混交林造成面積の目標値に対して実績値が伸びている理由は。

【事務局】

確認して回答する。

【委員】

- ・海岸のプラスチックゴミの問題について、美しい景観を遠くからみた場合と近くからみた場合で落差があるのでは。景観の先進県として、実態を調査し、消費行動を含めて県民運動につなげてほしい。人々の生活の中で美しい景観づくりの思想が育成される。

【事務局】

台風後の海岸ゴミ処理は、大きいものは災害復旧や環境部局の事業で実施。小さいものはボランティアで集めて県で処分している。

委員ご指摘のそもそもゴミを捨てないという観点での学習は大事であると感じた。

[委員]

- ・海岸の環境をきれいにする活動は、サーファーなど様々な団体が取り組んでいる。それを美しい宮崎づくりの一環として情報発信すれば人づくりにつながっていく。
- ・新たに景観形成促進機構に指定した団体の取り組みを教えてください。

[事務局]

日本造園建設業協会宮崎支部は、街路樹の管理をテーマした普及活動と聞いている。宮崎県造園建設業協会は、これから内容を決めていく予定としている。

[委員]

- ・2団体には、市民ボランティアではなく専門業者だからできるような取組のほか、街路樹の先にある市民と密着した景観づくりについて専門的な立場から取り組んでほしい。

[委員]

- ・中山間地域は過疎化・高齢化が進んでいる中で一生懸命景観の維持に取り組んでいるが、これから先どうなるかはわからない状況。ぜひ、中山間盛り上げ隊の取り組みを継続してほしい。草刈にはもっと人手が必要。現在700名ほど登録されているが、実働は100名ほどなので、もっと増やしていきたい。広域的な景観は小さな集落の景観で成り立っている。また、受け入れ側の集落に対して情報提供が不足している。
- ・農林漁家民泊について、高齢化のため受け入れが難しいのが現状。しかし、おもてなしの観点からは可能性を秘めている。空き家や農家だけでなくホテルとの連携など集落全体で受け入れる観点でみなさんで考えていきたい。これらの取組に向けた調査をしたいと考えており、予算化をぜひお願いしたい。
- ・霧島錦江湾国定公園の満喫プロジェクトについて、インバウンドの取組だけでなく、木育など県民が自然に親しむ場づくり、体験学習をからめて、美しい宮崎づくりのコンセプトの一つとして、県民の学びの運動として取り組んでほしい。

[事務局]

中山間地域の景観や文化を守ることは大事である。農家民宿や満喫プロジェクトは庁内の関係部局とまたがってくる。

景観を美しくすることがインバウンドにつながっていくことを意識して、庁内、さらには市町村とも連携しながら取り組んでいかないといけないと感じた。

[委員]

- ・大事なのは県民の心をつくっていくこと。県民が環境の本質を考え、自然に親しむ心を持ち、集落を応援する、空き家を提供してもらうことなどを県民がやってくことを考えてほしい。

[委員]

- ・地域づくりネットワーク協議会は、地域に根差した団体である。こういった事業をPRしていただければ取り組みが広がるのでは。

- ・ 県と市町村の連携をうまくやっていく必要がある。もっと市町村が地域の方々と一緒になって取り組む気運に持っていくことが大事。
- ・ 道の駅酒谷周辺で、花の植栽による景観づくり取り組んでいるが、もっといろんなところでその地域に合った取り組みができる。景観づくりは見た目からも大事。
通りがかりの人がきれいだと思える空間づくりにを県全体で動いていけたらいい。
- ・ 子供のころはプラスチックがなく、肉を買うにしても舐肥杉をうすく切って包んでいた。便利さだけでなく県民に理解を得ながらやっていくことが大事。
県産材の利用につながり全国にPRできる。
- ・ 中山間盛り上げ隊について、もっと力を入れていただきたい。
- ・ 新しくつくるの景観だけでなく、いらぬものや目障りなものを取り除いていくのも大事。地域の活動について行政も応援していただけるとありがたい。

[事務局]

美しい宮崎づくりは幅広い取組、庁内の連携が必要。景観の観点では市町村と連携しているが、庁内それぞれの部署でも市町村のつながりが大事。

景観アドバイザー制度もあり、紹介しながら、つくるだけでなく守る方も取り組んでいきたい。

[委員]

- ・ 重点施策1・2について、景観をつくり、守ることなど重要なことを着々とやっている。重点施策3の人づくりが一番重要。
- ・ 情報発信については、せっかくだいい取り組みをしている、これまでの取組などを含めてSNSを使って専門的なスタッフを呼び込んで発信することが必要。
意外と知られていない。
- ・ バス停を少しずつリニューアルしている。観光客のみならず県民の日常を景観を変えていくことが必要。

[事務局]

情報発信については、まだまだ足りないと思っている。勉強しながらやっていきたい。

[委員]

- ・ 「おおさかプラスチックごみゼロ宣言」は、生産から制限したようである。世界的には、サンゴを守るためには立ち入り禁止したり、日焼け止めをしたら海に入れないなど取り組みがが進んでいる。

○広域的景観の保全及び創出に関する方針（景域マスタープラン）について

[委員]

- ・ 景観要素に海岸景観とあるが、景域に日豊海岸が網羅されていない。有人の離島の島野浦があるが、財産だと思うのでぜひ景域に入れていただきたい。

[事務局]

入れる方向では考えている。

[関西議長]

- ・エリア分けはどのようにするのか。

[事務局]

ぼんやりした円で設定したいと考えている。その中に関係する市町村が入っているイメージである。

設定については、他県でもいろいろやり方があり、どのやり方が本県にあっているかを含めて研究していきたい。

[委員]

- ・門川や串間にも島がある。離島は交通面も関係している。また、神楽という文化面の観点がある。

[委員]

- ・阿波岐原の松林は景域に入らないのか。

[委員]

- ・宮崎市の景観重点地区に一ッ葉地区、大淀川があり、そこのリンクが大事である。県北や県南は島々浦々などの美しい景観があり、また、一ッ葉の延長で宮崎は全国に誇れる直線の砂浜海岸があり、どこもまねできない重要な資源。これはぜひ含めていただきたい。

[事務局]

ご意見を踏まえ、市町村の意見も聞きながら検討していきたい。

[委員]

- ・市町村がこの会議にオブザーバーとして参加したほうが伝わるのでは。

[事務局]

今日の意見を情報提供したい。

[委員]

- ・環霧島景域について、えびの市の川内川流域の記述がもれている。

[委員]

- ・これは景観法に基づいて策定するものなのか。また、規制はできるのか。

[事務局]

本プランは、景観法に基づいて策定するものではないため、規制等は市町村が策定する景観計画によって行われる。また、国は景域マスタープランを作ることが望ましいとの見解を示している。

本プランは、美しい宮崎づくり推進条例に基づき策定し、市町村が景観法で制限していくスキームとなる。

[委員]

- ・景観法だけでなく、他法令との調整も必要だと思われる。
- ・景観法に基づくものでなければ、経済的・産業的な観点も入れた方がいい。

[委員]

- ・緑のマスタープランや環境を守るべきエリアが抜けていないか検証した上で、景域を設定したほうがいい。

[委員]

- ・港などおもてなしの空間をマスタープランにしっかり入れてほしい。それが美しい宮崎づくりにつながる。

[委員]

- ・市町村に対しては、各エリアごとにどういった観点があるかを示すことが大事である。

[委員]

- ・持続可能がキーワードである。経済、環境も循環している。県がイニシアチブをとり市町村をまとめていくことは、非常に力仕事である。県が市町村をリードしてほしい。

[委員]

- ・マスタープランを作っては終わりではだめ。切り口や景観特性がたくさんあり、それも時代とともに変わってくる。
その中でそれらとのコミュニケーションの取り方が課題。市町村や関係団体がある中でゾーニングであり、全部網羅することは不可能。観点はしっかり書き込んでほしい。
また、絶えず見直していく必要がある。そのようなことを前の方で記述ほしい。

[事務局]

平成19年の宮崎県景観形成基本方針において景観特性は整理され、各市町村が景観計画を作っている。市町村が景観計画の中でしっかり取り組む部分やそうでない部分を整理しながら、今後、いただいた意見を参考に進めていきたい。

[委員]

- ・高千穂では神楽、まつりがあるから県外から変えてって来る。それが人づくり。なくなりそうな文化・歴史があれば、市町村がやることではあるが、サポートできる仕組みが欲しい。
- ・九州高校生文化際に参加したが、「これが宮崎か」という写真を撮っていた。高校生がインスタグラムで発信してくれる。しかし、今は「宮崎」を検索しても出てこない状況。コンテストを行い発信してはどうか。